

答弁書第三十三号

内閣参甲第三六号

昭和二十四年三月二十九日

内閣総理大臣 吉田 茂

参議院議長 松平 恒雄 殿

参議院議員山内卓郎君提出セメント工業に関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。

参議院議員山内卓郎君提出セメント工業に関する質問に対する答弁書

経済九原則の実施に伴い、予て、策定中の、経済復興五箇年計画も、改変を余儀なくされることと思うが、質問主意書に基き、経済復興五箇年計画仮案に基き、回答することとする。

(一) 生産計画(年度別、工場別)

生産計画

昭和二四年度	二、八〇〇、〇〇〇 吨
同 二五年度	三、六〇〇、〇〇〇 吨
同 二六年度	四、四〇〇、〇〇〇 吨
同 二七年度	四、九〇〇、〇〇〇 吨
同 二八年度	五、三〇〇、〇〇〇 吨

右は、日本経済再建資材並びに輸向資材としてのセメントに対する需要を算定し、他方石炭、電力その他の供給力との関係とも考慮しつつ、極力セメントについては、経済復興の基礎資材たる観点より生産復興のピッチを速めるにつとめて策定されている。

右に対する工場別生産計画は、未だ確定していない。

(二) 生産計画に伴う新増設、補修計画及びこれが所要資材の割当計画

セメントの現在公称設備能力は、六、一〇〇、〇〇〇 吨と称せられているが実績働能力は約三、〇〇〇、

〇〇〇瓩と見做される。従つて今後前項の生産計画を年々達成して行くためには、実稼働能力をこれに對應して整備して行くことを必要とする。併し公称能力が前記の如く六、一〇〇、〇〇〇瓩に達する以上、一應現存工場の整備復旧のみにより実稼働能力を年々必要だけ上げて行くことで充分となる。ただセメントについてはその需要の地域別が必ずしも輸送力を考慮に入れての地域別供給力と一致せず、その他石炭、電力等の生産諸條件の制約もあり、従つてある程度新增設を併行する必要がある。以上の観点より設備計画は次表の通り策定されている。

年 次	公称設備能力(瓩)	前年度保有設備による 実稼働能力(瓩)	復旧による実稼 働能力増加(瓩)
昭和二十四年度	六、一〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
同 二五年度	六、一〇〇、〇〇〇	四、〇〇〇、〇〇〇	八〇〇、〇〇〇
同 二六年度	六、三〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇	八〇〇、〇〇〇
同 二七年度	六、五〇〇、〇〇〇	六、〇〇〇、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇
同 二八年度	六、七〇〇、〇〇〇	六、四〇〇、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇
年 次	拡充(新設)に依る実 稼働能力増加(瓩)	年度末保有設備に依 る実稼働能力(瓩)	
昭和二十四年度	—	四、〇〇〇、〇〇〇	
同 二五年度	二、〇〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇	

同 二六年度

二〇〇、〇〇〇

六、〇〇〇、〇〇〇

同 二七年度

二〇〇、〇〇〇

六、四〇〇、〇〇〇

同 二八年度

二〇〇、〇〇〇

六、八〇〇、〇〇〇

右表について更に工場別に如何に実施して行くかは未確定であるが、方針的には資材、資金の效率的使用と生産能率の向上等を基礎にして今後進められるべきであらう。

尚、現有設備の補修用所要量として、計上してゐる資材は概ね左の通りであるが未だ配当計画として確定するには到つていない。

	昭和二四年度	昭和二五年度	昭和二六年度	昭和二七年度	昭和二八年度
普通 銑(匙)	一、六八五	一、八四二	二、一三〇	二、三二二	一、九三六
普通 鋼(材)(匙)	六、八八九	六、〇六二	七、〇五二	五、八九七	五、二二五
粉碎ボール(鋼)(匙)	四九〇	五一〇	五〇〇	五〇〇	四一〇
同 (銑)(匙)	六〇七	六二四	五八二	六一八	五〇二
生 ゴ ム(匙)	一五七	一六〇	一七〇	一五九	一五五
木 材(石)	二八、九六九	二二、五二一	二二、四〇八	二一、七七〇	一三、五二七
セメント(匙)	一四、七〇〇	一四、二〇〇	一三、七〇〇	一一、六〇〇	九、〇〇〇

(三) 生産計画に伴う石炭、電力、紙袋等の配当計画

	昭和二十四年度	昭和二十五年度	昭和二十六年	昭和二十七年	昭和二十八年
石炭(千 吨)	一、〇五五	一、二六〇	一、五〇〇	一、六二〇	一、六九〇
電力(百万 kwh)	四六二	五七六	六八二	七三五	七九五
紙袋(千封度)	二八、五〇〇	三八、四〇〇	四六、五〇〇	五〇、五〇〇	五四、五〇〇

但し紙袋については所要量を計上したものであり未だ配当計画として確定するには到っていない。

(四) 部門別推定需要並に之に対する配当計画及仕向先別輸出計画(年度別)

別表

昭和二十四年度仕向先別輸出計画は現下の貿易情勢よりみて、確定し難いが大体左の通りになる見込である。

昭和二十五年以降は未定である。

	昭和二十四年度	昭和二十五年
香港	一二〇、〇〇〇 吨	
比島	一四四、〇〇〇 吨	
カルカッタ	一二〇、〇〇〇 吨	
コロンボ	二四、〇〇〇 吨	
朝鮮	七二、〇〇〇 吨	
蘭印	六〇、〇〇〇 吨	
其他	七〇、〇〇〇 吨	

昭和二十四年度以降の資金計画は、目下全般的に、策定中であるから、未だ、特に、セメント工業に付て、如何なる長期融資に関する方策が採らるべきか、結論を申述べる段階に達していない。

各年度別セメント需要量及び配当計画表(案)

(單位屯)

[illegible]

[illegible]